

第2章 中古家電製品の輸出

家電製品4品目（テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン）に関し、中古品としての海外輸出量を把握し、特に輸出量が多い香港向けに関して、香港からの輸出実態を把握する。

2.1 日本からの中古家電の輸出

中古家電の輸出量は、次の手順にて推計した。

財務省貿易統計の月別輸出実績より、輸出金額を輸出台数で割って求めた平均輸出単価を、中古家電輸出業者に聞き取り調査した品目別の輸出単価と比較し、低い場合には中古品であると見なした。中古家電輸出業者より聞き取り調査した品目別の輸出単価は、エアコンが10,000円以下、冷蔵庫が5,000円以下、洗濯機が5,000円以下、テレビ（ブラウン管）が5,000円以下である。

（1）テレビ

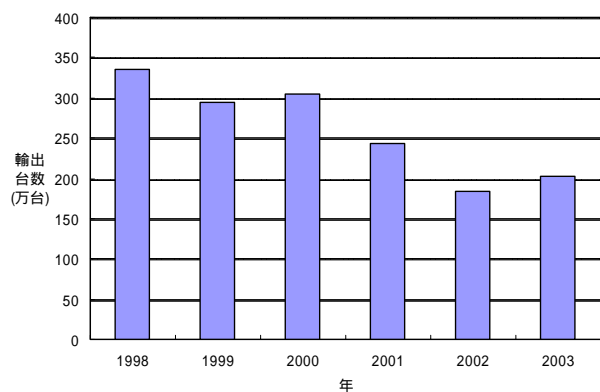
中古テレビ（カラー、白黒、ブラウン管式）の輸出台数は、1998年の335万台から減少傾向を示しているものの、2003年は前年より増加して約203万台と推定された。2003年1月～12月の1年間に輸出されたテレビ（ブラウン管式）の台数224万台うち、約90%が中古品であると推定された。

最も多く輸出されているのは香港であり、全体の63%にあたる約128万台となっている。次いでフィリピンの41万台（全体の20%）、カンボジアの21万台（同10%）となり、この3地域・国で全体の93%を占めている。以下、ミャンマー、ペルー、中国、ベトナムとなっている。

なお、中国は、2002年8月15日以降、中古家電の輸入を禁止しているが、ここで示した中国向けの輸出とは保税区内で修理・改良を行うために輸出されたものである。

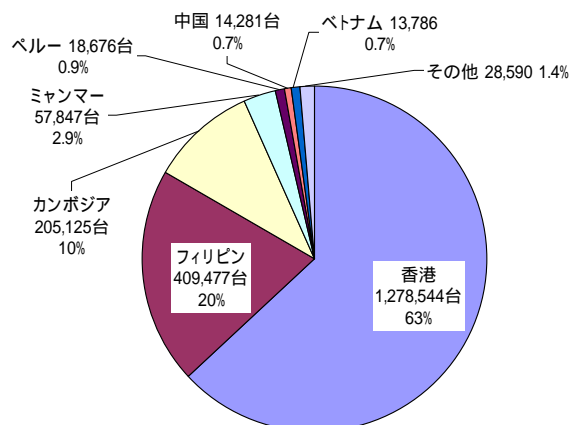
税関別にみると、大都市圏内の税関からの輸出が多く、特に横浜港からの輸出が突出している。次いで、大阪、神戸、博多、苫小牧の順となっている。

図2-1 中古テレビの推定輸出台数の推移



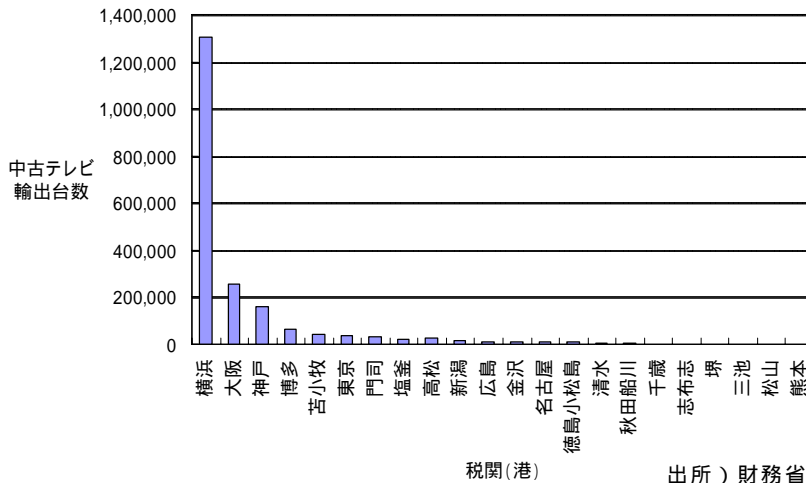
出所) 財務省貿易統計より推計

図2-2 中古テレビの輸出先割合



出所) 財務省貿易統計より推計

図2 - 3 中古テレビの税関(港)別の輸出量(2003年)



出所) 財務省貿易統計より推計

表2 - 1 中古テレビの税関別の輸出先別台数(2003年)(上段はカラーTV、下段は白黒TV)

税関別	香港	フィリピン	カンボジア	ミャンマー	ペルー	中国	ベトナム	その他
横浜	821,875	250,283	143,701	45,596	8,100	8,991	8,280	16,345
	258							
大阪	189,953	41,979	13,380	4,766	440	1,697		3,347
神戸	86,633	21,914	40,877	1,854	776	1,525	5,506	1,520
博多	43,489	7,144	7,167		4,711	1,271		145
	462							
苫小牧	26,390	10,965		2,836	1,802			262
		622						
東京	9,042	28,447			352			682
門司	26,102	5,907				536		493
高松	14,936	8,695		1,157				
塩釜	11,105	11,892						
その他	48,089	19,541		1,638	2,495	261		5,887
	210	2,088						

出所) 財務省貿易統計より推計

また、中国、香港向けテレビの最近5年間の輸出量の推移をみると、中国向けは、99年をピークに減少傾向を示しているが、香港向けについては、家電リサイクル法が施行された2001年より減少し、02年には78万台にまで減少したものの、03年には約128万台に上昇しているものとみられる。

表2 - 2 香港、中国向けのテレビの輸出量の推移 (単位: 台)

年		1998	1999	2000	2001	2002	2003
中国	新品	140,440	30,800	10,314	6,420	2,621	14,281
	中古品	3,526	147,202	100,517	41,813	38,490	5,852
香港	新品	376,180	117,065	63,173	21,646	12,448	83,011
	中古品	1,833,610	1,882,750	2,051,990	1,575,640	783,719	1,278,544
合計		2,353,756	2,177,817	2,225,994	1,645,519	837,278	610

(出所: 財務省貿易統計より推計)

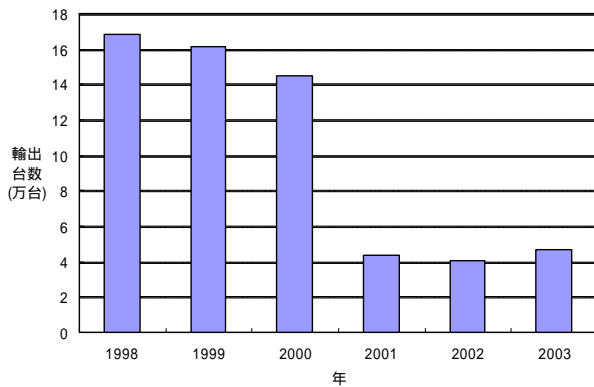
(2) 冷蔵庫

冷蔵庫の輸出量は減少しつづけ、特に2001年に激減している。1998年の16.8万台から01年には4万台に、03年は約4.7万台が輸出されたものと推定された。03年の1年間に輸出された冷蔵庫約7.5万台のうち、中古製品の割合は、62%であると推定された。

中古冷蔵庫の主な輸出先は、アラブ首長国連邦(全体の28%)、ドミニカ共和国(21%)、サウジアラビア(12%)、北朝鮮(12%)、以下、フィリピン、レバノン、ロシアと続いている。香港向けは556台、中国向けも54台と輸出量は限られている。

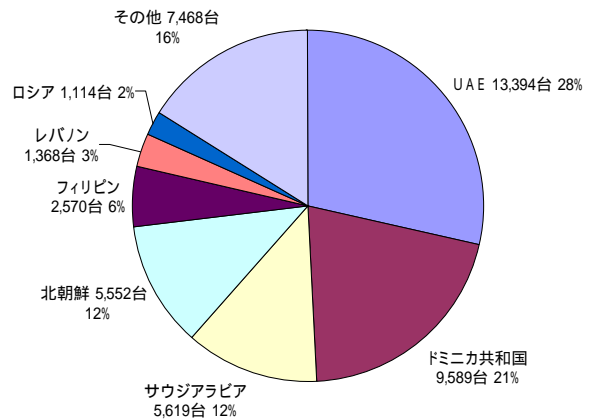
輸出港では、横浜、大阪が多く、続いて神戸、名古屋、舞鶴となっている。このうち、舞鶴は北朝鮮向けの主要港となっている。

図2-4 中古冷蔵庫の推定輸出台数の推移



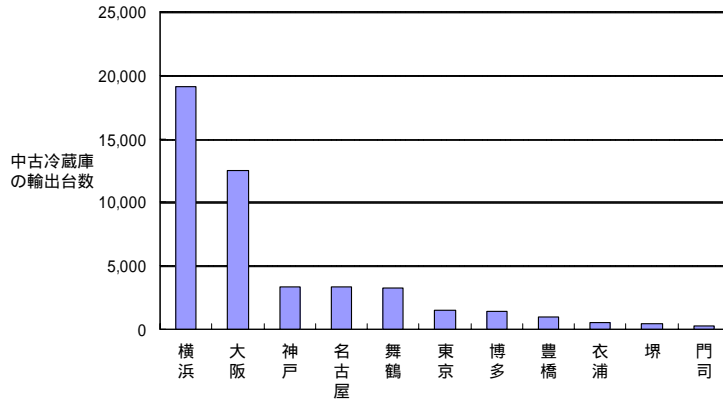
出所) 財務省貿易統計より推計

図2-5 中古冷蔵庫の輸出先割合(2003年)



出所) 財務省貿易統計より推計

図2-6 中古冷蔵庫の税関(港)別の輸出量(2003年)



出所) 財務省貿易統計より推計

表2-3 香港、中国向けの冷蔵庫の輸出量の推移 (単位: 台)

年	1998	1999	2000	2001	2002	2003	
中国	新品	6,664	3,668	57	29	286	984
	中古品	268	482	263	195	0	54
香港	新品	32,841	16,192	7,604	6,788	2,860	5,000
	中古品	257	0	0	0	0	556
合計	40,030	20,342	7,924	7,012	3,146	610	

(出所: 財務省貿易統計より推計)

(3) 洗濯機

洗濯機の輸出も減少しつづけ、1998年の25.6万台から02年には11.5万台に低下し、03年はさらに3.2万台にまで急激に減少している。03年の1年間の洗濯機輸出量約11.1万台のうち、中古品の割合は、29%であると推定された。

主な輸出先は、アラブ首長国連邦(全体の41%)、カンボジア(17%)、ベトナム(16%)、スリランカ(8%)、香港(7%)などとなっている。また、二槽式タイプ(約9,700台)の大部分が、ベトナムとアラブ首長国連邦向けである。

中国へ中古洗濯機は、ほとんど輸出されていないが、香港については00年より台数は少ないものの、増加傾向を示しており、03年は2,350台が輸出されたと推定されている。

図2-7 中古洗濯機の推定輸出台数の推移

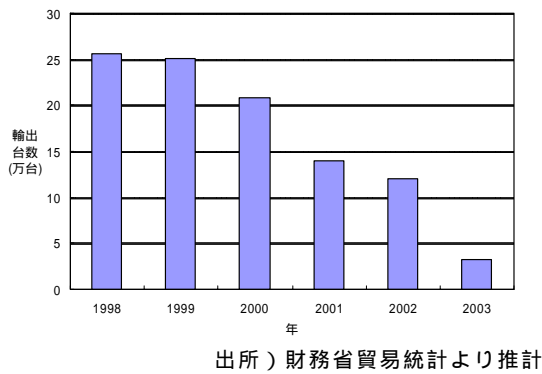


図2-8 中古洗濯機の輸出先割合(2003年)

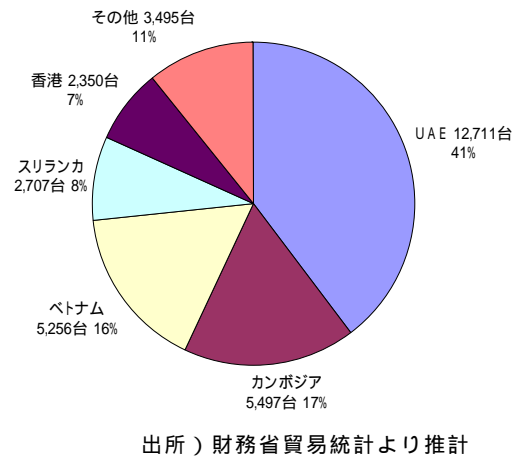


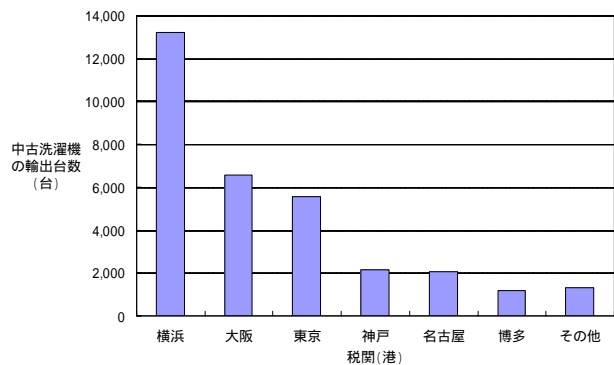
表2-4 香港、中国向けの洗濯機の輸出量の推移 (単位: 台)

年		1998	1999	2000	2001	2002	2003
中国	新品	17,789	5,700	3,277	2,375	43	2,270
	中古品	120	0	200	1,227	766	0
香港	新品	44,885	33,098	16,114	18,673	8,996	3,738
	中古品	0	0	210	1,079	1,496	2,350
合計		62,794	38,798	19,801	23,354	11,301	2,350

(出所: 財務省貿易統計より推計)

図2-9 中古洗濯機の税関(港)別の輸出量(2003年)

中古洗濯機は、横浜税関より最も多く輸出され、次いで大阪、東京、神戸、名古屋と続いている。



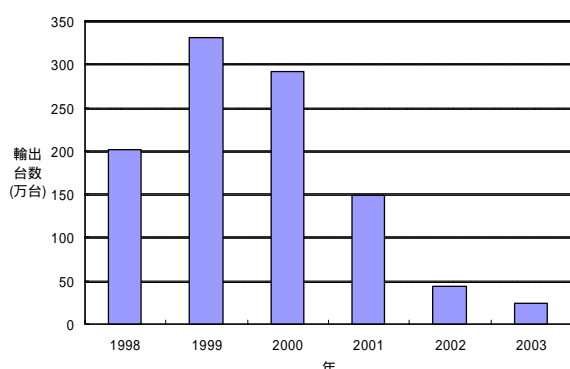
(4) エアコン

中古エアコンの輸出量は、1999年の約330万台をピークに急減しており、02年には約44万台となり、03年にはさらに減少して、ピーク時の1割以下の約23.3万台と推定された。03年の1年間に輸出されたエアコン約41.5万台のうち、中古製品の割合は、約56%であると推定された。

主な輸出先は香港で、全体の69%を占めている。次いで、カンボジア(7%)、レバノン(4%)、ブルガリア(4%)などとなっている。

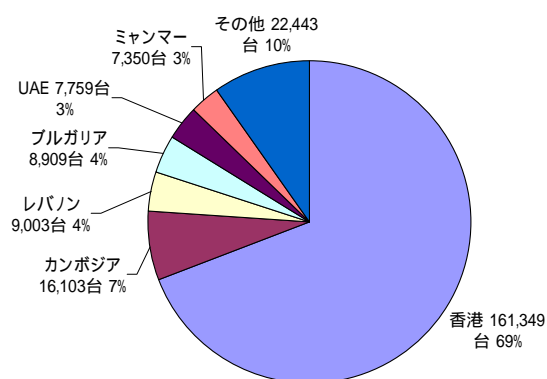
中国向け中古エアコンは2000年をピークに減少し、03年はわずかに1,411台に、また香港向けは98年の約27.6万台から減少しつつあり、03年は約4.7万台と推定された。

図2-10 中古エアコンの推定輸出台数の推移



出所) 財務省貿易統計より推計

図2-11 中古エアコンの輸出先割合(2003年)



出所) 財務省貿易統計より推計

表2-5 香港、中国向けのエアコンの輸出量の推移 (単位: 台)

年		1998	1999	2000	2001	2002	2003
中国	新品	65,751	35,298	50,597	24,549	38,253	16,366
	中古品	3,741	67,086	56,932	9,212	1,603	1,411
香港	新品	292,672	161,413	136,947	67,762	64,132	117,564
	中古品	275,819	161,476	149,808	122,101	88,458	161,349
合計		637,983	425,273	394,284	223,624	192,451	296,690

出所) 財務省貿易統計より推計

主要税関別に輸出先をみると、横浜からの香港向けが突出している。レバノン向けは神戸から、ブルガリア向けは東京、神戸からが多いと推定された。

表2-6 香港、中国向けのエアコンの輸出量の推移 (単位: 台)

	香港	カンボジア	レバノン	ブルガリア	その他
横浜	120,016	9,320	702	1,403	20,844
東京	3,439	4,896	0	3,643	1,711
神戸	13,319	708	6,376	3,482	3,958
大阪	9,816	836	1,485	381	6,680
博多	5,088	343	440	0	420
その他	6,068	0	0	0	7,928

出所) 財務省貿易統計より推計

2.2 輸出中古家電の香港からの流れ

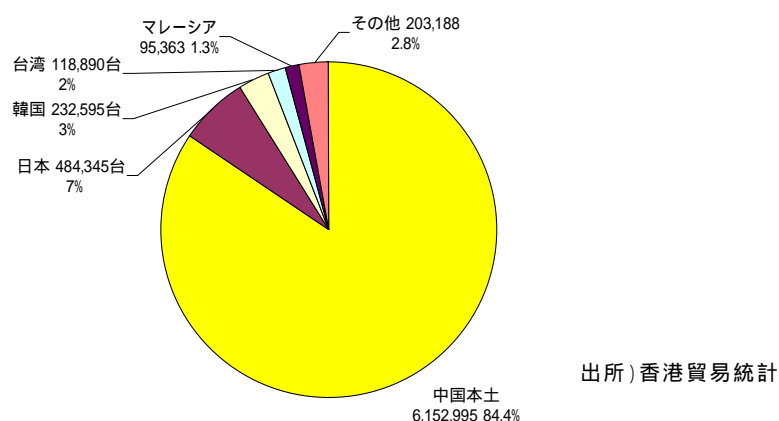
日本から香港に輸出されている中古家電製品は、2.1の項で推定したところによれば、カラーテレビ約128万台、エアコン約4.7万台であり、冷蔵庫と洗濯機はそれぞれ556台、2,350台と僅かであった。本項では、テレビとエアコンに絞り、香港に輸出された中古家電のその後の流れについて、香港の税関統計より推定した。

(1) テレビ

香港への輸入

香港は、世界各国からカラーテレビを輸入している。輸入量は、香港の貿易統計によれば、ブラウン管テレビ、液晶テレビを含めて、2003年の1年間だけで約729万台に上っている。図2-12に示すように、大部分が中国本土から輸入されたものであり、全体の84.4%にあたる約615万台が輸入されている。次は日本からであるが、その輸入台数約48万台は、日本の財務省貿易統計に記載されているブラウン管式、液晶などを合わせたカラーテレビの輸出台数約137万台（新品、中古品を含む）に比べて約1/3である。このことは、日本から香港向けに輸出されたにもかかわらず、実際に香港に輸入されていないことを示すものと考えられる。

図2-12 香港におけるカラーテレビの輸入先別台数と割合(2003年)



さらに、香港への中古テレビの輸入量の推定を試みた。香港貿易統計（月別）において輸入先別に輸入台数と輸入金額から平均輸入単価を算出し、5,000円以下のものを中古品として輸入台数を算出した。その結果、ドイツ、オーストリア、トルコ、フランス、オーストラリアから安価なテレビが輸入されていたが、その台数は合計で2.6万台であった。

日本から輸入テレビの月別の平均輸入単価を調べたところ、5,000円/台以下のものはなかった。これは、安価な中古ブラウン管式カラーテレビとともに、高価な液晶あるいはプラズマテレビが輸入されているために、平均単価を押し上げたためと考えられる。

いずれにしても、日本の貿易統計より推定した中古カラーテレビの香港向けの輸出量約128万台とは、乖離しすぎており、先述したような原因が考えられる。

表2 - 7 香港における中古テレビの輸入量の推定

輸出国	推定中古台数
ドイツ	16,347
オーストリア	3,243
トルコ	3,300
フランス	1,859
オーストラリア	1,310
日本	0

出所) 香港貿易統計より推計

香港からの輸出・再輸出

一方、香港の貿易統計には、「輸出」統計とともに、一度輸入し、その状態で輸出する「再輸出」統計がある。

カラーテレビの2003年の「輸出」量はわずか422台であるが、「再輸出」量は2003年の1年間で約596万台となっている。

再輸出されたテレビのなかで平均輸出単価が5,000円以下のものは、表2 - 8に示すように約181万台である。再輸出先を地域別にみると、ドイツ、フランスなどの欧州地域に、約108万台、中近東・中央アジア地域に約67万台、中南米地域に約4万台、アフリカ地域に約2万台が再輸出されている。アジア地域向けは182台と少ない。

表2 - 8 香港から5,000円/台のテレビの再輸出

再輸出地域	再輸出先	再輸出台数
中近東・中央アジア		665,610
	アラブ首長国連邦	370,217
	トルコ	112,644
	シリア	96,316
	サウジアラビア	42,807
	クウェート	12,227
	イスラエル	9,683
	その他(ヨルダン、オマーン、レバノン、イラン、グルジア、エジプト)	21,716
欧州		1,081,166
	ドイツ	783,077
	フランス	172,397
	ベルギー	32,662
	ハンガリー	30,500
	ポーランド	19,131
	オランダ	15,517
	オーストリア	14,378
	その他(ギリシャ、デンマーク、リヒテンシュタイン、ポルトガル)	13,504
中南米		43,212
	ブラジル	24,068
	その他(パナマ、ハイチ、メキシコ)	19,145
アフリカ		21,100
	アルジェリア	10,000
	その他(タンザニアなど)	11,100
アジア		182
合計		1,811,271

中国から毎月60万台程度輸入しているカラーテレビの平均単価が7,400~10,900円であることを考慮すると、5,000円以下の低価格品がすべて中古品とはいえない。しかし、

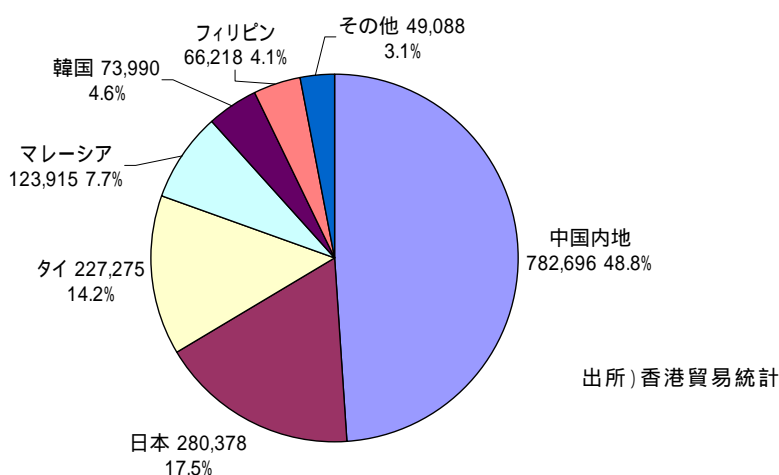
日本から香港向けに輸出された中古カラーテレビ約 128 万台（表 2 - 2 参照）のうち、香港に輸入されたもの約 48 万台を除く、約 80 万台が、表 2 - 8 に示した国々に再輸出されている可能性が高い。

（ 2 ）エアコン

香港への輸入

香港は、世界各国からエアコンを輸入している。輸入台数は、香港貿易統計によれば、2003 年の 1 年間だけで約 160 万台に上っている。図 2 - 1 3 に示すように、約半数が中国本土から輸入されたものである（約 78 万台）。次は日本からの約 28 万台である。この数値は、日本の財務省貿易統計に記載されている香港向け輸出台数約 29.7 万台（新品、中古品を含む）とは整合性がとれている。

図 2 - 1 3 香港におけるエアコンの輸入先別台数と割合 (2003 年)



また、日本からの平均輸入単価 10,000 円以下のものは、香港貿易統計によれば約 19 万台であるのに対し、日本の財務省の貿易統計における平均輸出単価 10,000 円以下の香港向けの輸出台数は約 16 万台であり、やや整合性に欠ける。

香港からの輸出・再輸出

香港からのエアコンの 2003 年の輸出量は、わずか 286 台であるが、「再輸出」量は 2003 年の 1 年間で約 65.5 万台となっている。

再輸出されたエアコンのなかで平均輸出単価が 10,000 円以下のものは、表 2 - 9 に示すように 1.5 万台程度である。再輸出先をみると、アメリカ、フィリピン、メキシコなどとなっている。

日本から香港向けに輸出されたと推定される中古エアコン（平均単価 10,000 円以下）は約 16 万台と推定されるが、これらは、概ね香港に輸入されて使用されていると考えられる。

表 2 - 9 香港から 10,000 円 / 台のエアコンの再輸出

再輸出先	再輸出台数
アメリカ	9,496
フィリピン	2,880
メキシコ	2,180
ニュージーランド	178
アラブ首長国連邦	519
タイ	92
イラン	37
イギリス	32
合計	15,414